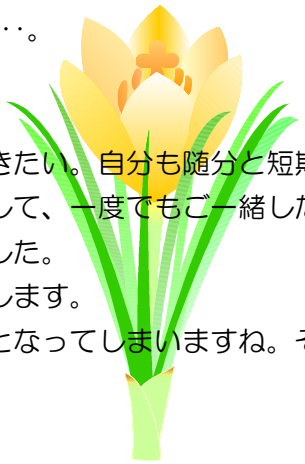
教育かわら版

こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１５２
令和３年３月２５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

春です

明日は義務の学校の修了式。
令和２年度ももうすぐ終わりです。卒業式も終わり、子どもたちが巣立っていきました。残念なのは出席できなかったこと。考えてみるとこの職に就いてから、まだ一度も卒業式、入学式に出席したことがないのです。コロナ禍･･･。

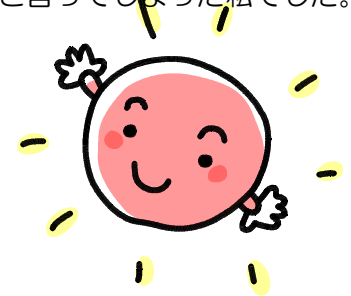


教職員も事務局職員も人事異動があります。
寂しさもありますが、新たな変化を求めての希望の時と考えていきたい。自分も随分と短期間で転勤を繰り返してきました。そのたびに新たな出会いがある。そして、一度でもご一緒した方とはいつまでも繋がっていたい。そう思ってこの時期を越えてきました。
皆さんお元気でご活躍を。そしてこれからもよろしくお願いいたします。
こちらも、各職場そうでしょうが、送別会もできずに寂しい別れとなってしまいますね。それだけが心残りです。
お元気で。

コロナに負けるな

決してきれい好きというわけではないのですが、自分の勤め先などで外に落ちているゴミを見ると拾うほうだったのです。だった･･･。
コロナが流行している中では見つけても少し躊躇する自分が。拾ってから猛消毒。

役場のトイレには感知式の手指消毒の泡が出る装置があるのですが、私にはまず反応してくれない。若い人には反応するのかな。年令が行くとスマホの画面も反応しないことがあると聞いたことがあったので、「年を取ったのかな」と考えていたのですが、先日は衝撃的なことが･･･。
議会の休憩時間に、トイレに行ったときは混み合っておりました。議会に出る課長級の職員とはそれほど年令が変わらない。いや、同じ方だって。その方たちが機械に手を差し出すと、「ウイーン」と洗浄の泡が。そしてその直後、私が手を出すと･･･『無反応』！？　うーん。
つい先ほども、うちの職員とトイレで会いました。ちゃんと洗ってないと思われたらいやだな、と考えたので、「反応しないんだよね。動いたら教えてね」と、先に出ました。
その後、廊下から彼に、「すぐ反応しましたよお」と笑顔で･･･。
「えー。俺見えてる？　俺、生きてんのかなあ」。思わず「俺」と言ってしまった私でした。



コロナに負けるな！
令和３年度もよろしくお願いいたします。